

広 告

道内一と誉れ高い 石狩のアスパラガス

採れたてのアスパラを生でかじったことがありますか？石狩の名産グリーンアスパラは本当に甘くておいしい！5月中旬から出荷が始まったアスパラは6月が最盛期。グリーンがきれいで味が良いことから札幌市場で最も評価が高く、昨年テレビで全国で紹介されたのも石狩のアスパラでした。

現在、「JAいしかりGアスパラ部会」のアスパラ生産農家は40戸。作付面積17haのうちハウス栽培は2戸、ほかは露地栽培です。グリーン強いバイトルやウエルカムという品種が主流で、さらに石狩産の場合は寒暖の差があるのでぐっと甘みも増します。25cmの長さで収穫したアスパラは樽川共撰場に運ばれ、ここで2L～Sサイズに厳しく選別されて21cm（ハウス物は22cm）に切りそろえて出荷されます。JAいしかりでは10a当たり7万円の奨励金を出して応援。部会長の吉田隆義さんと妻の三千子さんは「1～2年のうちに石狩全体で30haの作付けにしたい」と意気込みます。



▲25cmの目盛りがしるされたかまの柄を当て、1本1本丁寧に刈り取ります。

◀陽気が良いと1日に5cmも伸びるアスパラ。収穫は時間との格闘。

▼5年前からハウス栽培に切り替えた増田優治さんのハウス。奥さんの加代子さんが毎日午前と午後の2時間ずつ収穫。EM菌で土壌改良した無農薬のアスパラです。



購入・地方発送は JAいしかり樽川共撰場 ☎73-4179

一九九五年（〇二七）人・〇五年（八〇四）二人・少年子化を示す石狩市の年少人口の比較です。二人以上を必要とする出生率も二九人と全国平均すら下回る状況は深刻で、しかも、二十五年後の総人口を、国立社会保障・人口問題研究所は五七、五九二人と弾き出した。◆市では子どもを産み、育てる環境づくりと、健やかな成長を願う、昨年、総合型のこども室をスタートさせた。取り組みの多くは、市民、NPO、団体などとの「協働」によって行われている。◆子育て支援センターの利用や、相談に訪れる方が驚くほど多い。少なからず不安を抱きながら、子どもと向き合う姿がそこにある。「子育ての社会化」を問うて久しいが、地域力による保護者の孤立化を阻止することは、まちづくりそのものにも通ずる。ノーバディズ・パーフェクト「完全な人などいない」のだから。

◆四月より「ブックスタート」が乳児の十カ月検診時を利用して始まった。市民図書館とりんくらの連携に加え、封面による読み聞かせを実現したボランティアの皆さんに感謝したい。誰にでも心の奥に幼少期の絵本や物語が無意識に存在することにふと気付くことがある。「愛」や「倫」はこの時に息吹いたことを知る。ことのは「言葉は時として泳ぐこともあるが、文字を重ねた文章や、感性を育てる絵本は、真理を伝える最善手と思う。それは時間の選択を自分で構成できる再現性もあるからだ。子どもたちが同じ本を幾度も読むことに大切な意味を持つ。「本」が憂える社会の改革と人づくりに果たす役割は重い。

（市長）